

書のまち春日井と 小野道風

みなさんが住んでいる春日井市は
書道がさかんな「書のまち」です。
これには、小野道風という人が
深く関係しています。
マスコットキャラクターの道風くんは、
道風をモデルにしています。



名前

「書のまち春日井」
マスコットキャラクター 道風くん
©Kasugai City 2008

小野道風おののとうふう（八九四〜九六六年）

小野道風は、今から千百年ほど前、
平安時代に生きた人です。

そのころ、日本でいちばん字が上手でした。

これは道風をえがいた古い絵です。

筆を持って紙を前に置き、

何を書こうか考えているようです。



小野道風肖像画（観音寺蔵）

やなぎに

とびつく

かえる

努力家の道風を主人公とした
お話が伝えられています。

ある日、道風はやなぎの葉にと
びつこうとしている蛙を見つけま
した。やなぎの葉は高く、とびつ
くのは無理だろうと道風は思いま
したが、蛙は何度失敗してもあき
らめずにとび、とうとう葉にとび
つくことができました。

この蛙を見て努力の大切さを知
った道風は、心を新たにさらに努
力を続け、すばらしい書を書いた
のです。



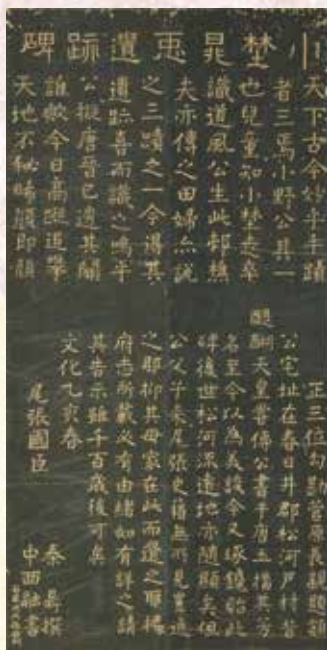
道風の 誕生伝説

道風が春日井で生まれたという伝説があります。左の写真は、二百年くらい前に建てられた石ひで、松河戸町の道風公園にあります。

その石ひには、「道風が春日井で生まれた」と言い伝えられている。」と書いてあります。



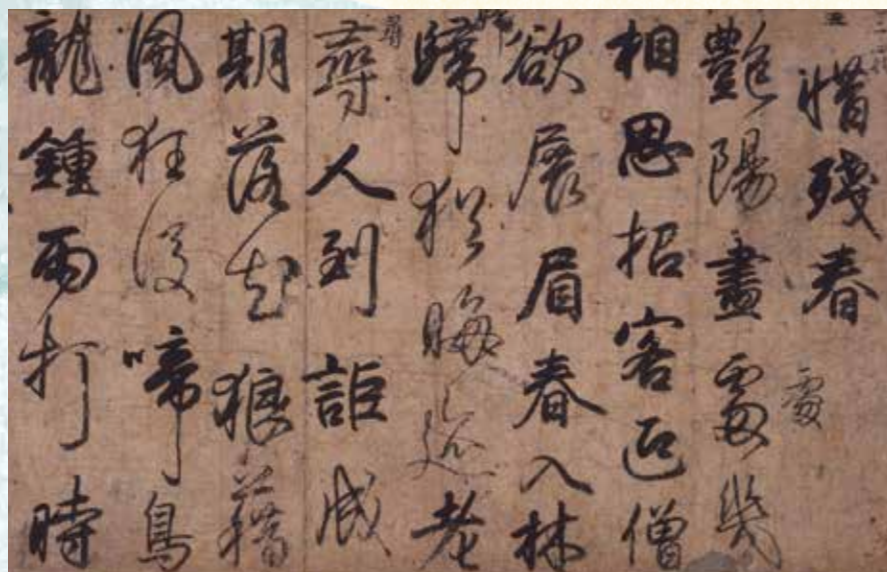
小野朝臣遺跡碑



小野朝臣遺跡碑の拓本



屏風土代



小野道風筆屏風土代(部分)(宮内庁三の丸尚蔵館)

道風の書

平安時代中ごろまで、日本では中国の書をお手本にして中国風の書を書いていました。しかし道風は、まねをするだけではなく、新しい日本風の書を書きました。道風がつくりあげた書を「和様の書」といいます。



ここに注目!

上の屏風土代の写真
四行目の「春」



筆をゆつくりと動かして書いています。とがった線はほとんどなく、おだやかでやさしい感じがします。これが、道風の書いた「和様の書」の特色です。他の字もよく見て、やわらかい感じがするとところをさがしてみよう。

書のまち春日井

春日井の人たちは、ここが道風のふるさとだと信じ、大切に思ってきました。また、道風のように字が上手になりたいと思う人がたくさんいたので、自然に書道のさかんなまちになりました。

そして、「書のまち春日井」を合言葉に、さまざまな取り組みが行われています。

● 小学校の書道科

一年生から毛筆の書道を習うのは、全国でもめずらしいことです。



上：席上きごう大会 下：道風展

● 教育展

クラスの代表の作品が春日井まつりの会場にてんじされます。

● 県下児童・生徒席上きごう大会

小野小学校に学校の代表が集まる書道大会です。

● 道風展

全国から作品が集まる書のてんらん会です。

書道を習うみなさんだけでなく、それを教える先生も一生けん命書の勉強をして、みんな「書のまち春日井」をもち上げようがんばっているのです。



上：教育展 下：小学校の書道科

道風記念館

道風記念館は、書をせん門にしているとてもめずらしい美じゅつ館です。道風について知ることができ、いろいろな書の作品をみることができます。ぜひ行ってみてください。



住所 春日井市松河戸町5丁目9番地3
TEL 0568-82-6110
<https://www.city.kasugai.lg.jp/shisetsu/bunka/tofu/index.html>